

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	どちらと	工夫している点、問題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10			限られたスペースを安全を担保しながら効率よく使えるよう活動内容を考えています。
	②	職員の配置数は適切であるか	10			法律の定数を守り、加えて理学療法士や作業療法士、心理士、保育士等の有資格者を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1	2	基本的にはできていると思いますが、車椅子などでのご利用は難しい状況です。事業所がビルの2階にあり、エレベーターはありません。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9		1	毎日の朝礼、セッション前の打ち合わせ、セッション後の振り返りにて徹底しています。また定期的に社内ミーティングを行い、情報共有をしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する事により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10			評価表に加えて、面談や送迎の際にも積極的に聞き取りを行い、改善点・問題点に早急に対応しています。また、保護者の意向はグループ LINEにて職員が周知徹底しています
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10			毎年アンケート調査を行い、ホームページに結果を載せ、公表しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	6	4	第三者委員会は設置していません。客観的にどう思うかを第三者に確認して改善につなげようと努める事はあります。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10			できるだけ多くの職員が参加できるよう環境調整し、事業所内研修・外部研修を月に1回以上行っています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			聞き取りや検査結果を踏まえて、本人の状況を十分に観察したうえでアセスメントしています。計画作成後にアセスメント内容に変更があり、支援の方向性に変更が必要な際は、早期に保護者様への説明を行うと共に、計画や支援内容変更のご提案をしています。
	⑩	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10			標準化されたアセスメントツールを基本とした独自のアセスメント様式を作成して使用しています。子ども達の状況や支援内容に応じて、適切かと思われる様式があったら、変更する事はあります。

適切な支援の提供

⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10		チーム、上司と相談し立案しています。また計画書に沿ったプログラムを立案できるよう、計画書と常に照らし合わせて支援目標を立案しています。
⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	10		マンネリ化しないよう書籍、ネット、動画、研修等から広くバリエーションの収集に努めています。また、同じ活動プログラムをどれくらい続けるのか、目標達成度合いを観察し、判断しています。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて。課題を決め細やかに設定して支援しているか	10		気候や体調にも合わせてセッション内容を臨機応変に設定しています。また、長期休暇中は通常より長い時間でのセッションを行い、普段できない様なイベントを計画したり、モチベーションとなる楽しみを設けるなどして、活動に変化を持たせています。
⑭	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	10		基本的には2～4人の小集団活動ですが、気分がすぐれない場合などは個別にクールダウンや見学等の対応をしています。またカウンセリングが必要と思われるお子さんには、個別にカウンセリングを行なうこともあります。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10		朝礼とセッション前の打ち合わせにて確認をしています。いつもと違う内容や職員で行う場合は特に入念に打ち合わせしています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10		最終利用者が帰られた後に、ミーティングにて反省点や今後の課題を話し合っています。内容は職員間で周知・共有しております。
⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10		支援に活かせるよう、支援内容、様子、評価等を細かく記録することを徹底しています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10		記録をもとに社内ミーティングにて検討し、必要に応じて見直しを行っています。また、半年に一回は全員モニタリングを行っています。
⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	10		ガイドラインの内容を踏まえて、様々な活動プログラムを組み合わせ支援を行っています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	1	児童発達管理責任者及び、専門性を持つ心理担当職員が参加・資料作成しています。

関係機関や保護者との連携

⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9		1	保育所等訪問支援を利用しているお子さんが多く、学校側と密に連絡連携を図っています。 1 放課後等デイサービスとしては、基本的に送迎を行っていないので、保育所等訪問支援の利用がない児童に関しては、学校との連絡調整を行う機会は少ないです。
㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子供の主治医と連絡体制を整えているか	0	6	4	看護職員は配置しておらず、医療的にケアが必要な児童は受け入れていない。
㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に務めているか	9		1	小学1年生に上がるタイミングでご利用を開始される場合には、それ以前に通っていた園や事業所との情報のやり取りを行います。
㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9		1	進路に応じて必要であれば積極的に支援内容の情報提供をしています。
㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9		1	積極的に研修に参加し、専門機関と連携をとっています。また、県や市の事業を利用して、作業療法の研修などを受けています。
㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子供と活動する機会があるか	5	2	3	基本はありません。外出時に偶然交流することはあり得ます。また、感染症対策の観点から、慎重に様子を見ている面もあります。
㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8		2	地域の子供部会に所属しており、研修にはできるだけ参加しています。
㉗	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			セッション毎の連絡帳とは別に、ラインでも情報交換をしています。本人に聞かせたくないことやじっくりと考えていきたいこと、記録に残しておきたいことは書面やラインを活用しています。 また、保護者様が孤立しないように面談や家庭訪問を積極的に行っています。
㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10			面談や情報共有、アドバイスは密に行い、必要に応じて親子セッション・ペアレントトレーニングも行う場合があります。日々の声掛けや対応等、保護者様が能動的に関わっていけるよう支援を行っています。
㉙	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			契約締結の前に、運営規定・重要事項説明書について説明する時間を十分に取り、不明な点がないか確認しています。

保護者への説明責任等

③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10		面談や家庭訪問を通して相談に乗れるようご提案しています。毎月訪問ができています。お宅もあります。訪問が難しい場合は、送迎の際やラインにて困りごとがないかお尋ねしています。
③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10		保護者様同士の交流のために、不定期ですが茶話会やイベント、研修会などを開催しています。
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者等に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10		上記のように相談体制は整えています。相談があった場合には可及的速やかに訪問やその他の方法で詳しく話を聞いて対策を検討し、早期実施しています。 子供たちにも常に相談（SOSやHELP）ができるように、支援の中に組み込み教えています。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	7	3	定期会報は検討中です。その他、伝達事項は都度文書やラインでお伝えしています。また、個別に写真を撮って活動の様子を共有することもあります。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	10		個人情報に記載された書類は鍵がかかった所定の場所から動かさず管理しています。また、個人情報が含まれた内容を口にするときは周囲に人がいないか配慮しています。
③⑥	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10		個々に最も適切な意思疎通の方法をとるようにしています。児童に対しては視覚支援や言葉遣いに配慮し、保護者様に対しては場面や内容に応じ口頭・電話・書面・ライン等使い分けております。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	6	感染症対策の観点からも慎重に判断していました。児童発達支援では地域の方の畑をお借りして、収穫体験をしました。放課後等デイでも実施を目指していきたいです。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	10		各防災マニュアルは策定しています。職員間での周知確認はできています。
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10		避難訓練は火災や地震を想定し、半年に1回程度の間隔で実施するよう計画しています。
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10		虐待防止委員会・研修会を実施しており、適切な対応を学んでいます。また、常に職員間でお互いの支援を確認し、虐待につながる行動が起こっていないか注意しています。

非

常時等の対応	④1	どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10		研修を行い、身体拘束をやむなく採用する際の三要件を学んでいます。身体拘束をしなくて済む工夫をするとともに、もし身体拘束をした場合は必ず報告する旨を説明し、同意をいただいたうえで支援を行っています。
	④2	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	4	主治医や保護者様の意見を確認し、アレルギーが発生しない環境整備と、万が一発生した場合の正確な対応を職員間で周知していきます。また、調理を行う際は事前にご家庭に予告し、アレルギーの有無を確認しています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか	10		事例集を作成し共有しています。また、口頭で共有して記載してないこともしばしばあるので今後のためにもしっかりと記載していきたいです。